

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	エイズ発生動向調査経費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和59年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課長 田原 克志		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第11条		関係する計画、通知等	「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」平成24年厚生労働省告示第21号				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国で増加傾向にあるエイズ患者・HIV感染者の情報を的確かつ迅速に把握することにより、エイズの流行阻止の施策に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県からのHIV感染者、エイズ患者の報告をとりまとめ、状況を分析することで、今後のHIV感染、エイズの流行を阻止するための施策へ役立てる。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	3	3	4	4	4	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	3	3	4	4	4		
	執行額	2.4	2.4	3.8				
執行率(%)	80.0%	80.0%	95.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	定量的な成果目標設定は困難であるが、エイズ患者・HIV感染者の情報を把握し分析することで今後のエイズ予防対策に反映していくことを目標としている。			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	エイズ動向委員会の開催実績			活動実績 (当初見込み)	回	4 (4)	4 (4)	4 (4)
	1,000,000(円/委員会)		算出根拠	単位あたりコストの算出において、Xは平成24年度予算額(4百万円)、Yは活動実績の平成24年度数(4回)とする。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.3	0.3	員数を見直したため				
	職員旅費	0.3	0.3					
	委員等旅費	0.5	0.3					
	社会保障関係情報化業務庁費	3	3					
	計	4	4					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	HIV/エイズの発生動向を把握・分析し、国民に還元することは、感染拡大防止の観点から重要なものであり、国民のニーズが高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法において、国及び都道府県等は、感染症に関する情報収集・分析を図らなければならないとされており、また、全国のHIV/エイズの発生動向を収集・分析し、情報を国民及び地方公共団体等に還元することがHIV/エイズの感染拡大防止の観点から重要であることから、地方自治体等には委ねることができない。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	HIV/エイズ患者の発生動向を収集・分析し、情報を国民及び地方公共団体等に還元するため、優先度の高い事業となっている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	HIV/エイズの発生動向調査、エイズ動向委員会開催のために必要な謝金、旅費等に支出しているものであり、真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	HIV/エイズの発生動向を収集・分析し、分析結果を国民及び地方公共団体等に還元し活用している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年度は、前年度と同回数のエイズ動向委員会を開催し、エイズ患者・HIV感染者の情報を把握・分析し、今後のエイズ予防対策の検討に寄与した。本事業は一定の不用が生じているものの、国民のニーズや優先度、国が実施すべき責務、資金の費目・使途等の各点検項目を概ね満たしており、また、エイズの流行状況を調査・分析し、広く国民に情報提供することで、国民の意識の向上、流行防止に寄与していることから、引き続き「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」(エイズ予防指針)の趣旨を踏まえ、適切に事業を行う必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	エイズ患者及びHIV感染者の発生動向について調査・分析することにより、HIV/AIDSの流行防止を図るための経費であるが、執行状況を踏まえ、予算の縮減を図るべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	執行実績を踏まえて、積算を見直したことによる減。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	167	平成23年	0144	平成24年	116

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省



A.事務費
3.8百万円

〔 諸謝金、旅費、社会保障関係情報化業務庁費 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	会議出席謝金等	0.2			
旅費	会議出席旅費等	0.6			
社会保障関係情報化業務庁費	印刷製本費、会議費等	3			
計		3.8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					